

資料 1

「宇美町地域公共交通計画」の目標達成に向けた施策・事業の取組状況について（令和7年度）

目標	施策	事業	取組状況
目標1 持続可能な公共交通体系を確立させる	施策1 JR+西鉄幹線系統+のるーと宇美+地域輸送資源による公共交通体系の構築 計画55～58頁	事業1－3) 「のるーと宇美」の継続的なサービス改善	毎月、運行事業者・運行支援事業者・町で定例会を開催し、改善に向けた意見交換を実施。 ※令和7年度は、システムのみの対面ミーティングポイント設置及び満足度アンケートを実施
		事業1－4) 駅前広場の機能拡張	駅前広場活性化のためのキッチンカー出店継続実施。 12月1日～2月1日イルミネーション点灯。
	施策2 運転手の確保 計画58～59頁	事業2－1) 運転手募集の広報 事業2－2) セカンドキャリア希望者の公共交通分野への就業促進	県が実施しているバス・タクシードライバー魅力発信イベント、バス運転体験会・合同会社説明会についてホームページで周知
目標2 公共交通をもっと使いやすくする	施策3 交通結節点の待合環境の改善 計画62～63頁	事業3－1) JR宇美駅の待合環境の向上	待合所の年中無休の運営を継続中。
	施策5 交通サービスの一元化 計画64頁	事業5-1) Maasの周知	・広報紙での「my route」の周知実施。 ・県交通政策課、糟屋中南部エリアで連携し、地域内での移動特性、交通モードの利用実態を分析し、課題を整理するため調査研究を実施中。
目標4 公共交通を積極的に利用する	施策7 利用啓発 計画67頁	事業7－1) モビリティマネジメントの推進	広報紙への掲載(7月号の特集「乗って守ろう！公共交通」)
		事業7－2) 乗り方教室・アプリ教室・出前講座の開催	窓口等での使い方相談受け付け、出前講座(桜原自治会)の実施、広報紙への掲載
	施策8 他分野との連携推進 計画68頁	事業8－1) 高齢者の免許返納の推進	運転免許返納者へののるーと乗車クーポン付与。

◎今後のスケジュール（計画 7 1 頁参照）

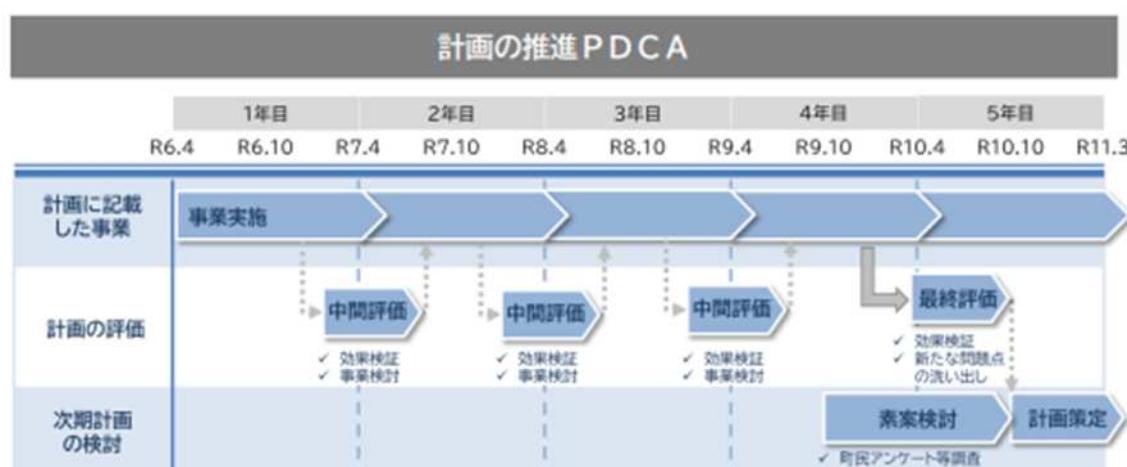
6-3. 計画の評価方法

本計画は、設定した目標及びその指標の達成状況を見ながら、計画の進捗状況を管理していきます。

事業年度の後半に事業進捗や指標のモニタリングを行い、効果検証を実施するとともに、次年度の事業内容について検討を行って、効果の積み上げを図っていきます。

計画4年目時点には最終評価を行い、計画5年目時点で次期計画策定に向けた検討を進めています。

なお、社会情勢の変化等、計画の見直しが必要となった場合には適宜見直しを検討していきます。



■計画の目標と指標

目標	指標		単位	現状値	目標値
【目標1】 持続的な公共交通体系を確立させる	【指標1】	JR 宇美駅利用者数	人/日	1,649 (R3 年度)	1,910 (R10 年度)
	【指標2】	路線バス利用者数 (JR宇美駅・上宇美バス停)	人/日	860 (R4 年)	875 (R10 年度)
	【指標3】	のるーと宇美利用者数	人/日	101 (R5 年度)	150 (R10 年度)
	【指標4】	のるーと宇美収支率	%	7.5 (R5 年度)	12 (R10 年度)
	【指標5】	タクシー運転手数 (法人2社)	人	53 (R5 年度)	53 (R10 年度)
【目標2】 もっと公共交通を使いやすくする	【指標6】	公共交通機関が利用しやすいと思う町民の割合	—	R6年度に実施するアンケートにより把握	上昇 (R10 年度)
【目標3】 人と環境にやさしい交通体系を構築する	【指標7】	環境配慮型車両の導入台数	台	— (R4 年度)	7 (R10 年度)
【目標4】 公共交通を積極的に利用する	【指標8】	公共交通分担率	%	16 (R5 年度)	26 (R10 年度)

※上記指標に加えて、「公共交通に対する公的財政負担額」についても毎年度モニタリングを行う。